

読む ミルク



今、話題の「フェイスブック」のユーザーが8億人を超えたのをご存知ですか。世界の人口が70億くらいですから、赤ちゃんや老人、インターネットが使えない地域などを除けば、3人に一人くらいは使っていることになりま

す。2004年にサービスを開始したことを考えると驚異的な伸びです。
なぜ、ここまで急速に増加したかという点、これまでの

SNSで仲間増やそう

SNS(ソーシャルネットワーク)キングサービスと比べて、思わず見たくなる工夫が随所にあるからです。実名登録という最大の特徴と本人の写真アップしている人がほとんどなので信用性が高いということ。

「イベント(催し)」の招待が簡単にでき、そのイベントでき、生活、仕事など多方面に使えることが急速な浸透につながっているのです。

私は、ITコンサルティングや起業支援に関わっているので、効率的な活用指導をしていくためと、自身の広報や情報収集、ネットワークづくりのためにフェイスブックを使用しています。「友達の数」

トにどんな人が参加しているのか、誰が「いいね(評価)」や「コメント(感想)」しているのかが明確にわかる。アップ内容を「シェア(情報共有)」や、誰といるかを「タグ付け(紹介)」できるので、仲間意識がでやすい……などな

は8000人。日本のフェイスブック利用者で「友達の数」が5000人を超える人は4%くらいですから、かなり多い方になります。

だからといって「友達の数」が多いが良いわけではありません。自分に関心を持ってくれている人、相手に関心があり交流を持ちたいと思っ

これらの機能がコンピューターが苦手な人でも操作が楽に

ている人と「友達」にならない

れば、時間をかけている割には反応のないページになってしまいます。

驚くことに、平均的な「友達の数」を持っている人は、自分の投稿が「友達の友達」を含めると約3万人に表示されることになるそうです。上手に管理すればはかりしれない効果を生み出すことができますが、こ

れだけの人が見えていくわけですから、注意

点を押さえておかないとトラブルの原因になります。

まさに、フェイスブックの世界は、驚きと感動と発見の「びっくり箱」です。フェイスブックの私のページで皆さんをお待ちしていますね!

(<http://www.facebook.com/fumiko.haginara>)

※数字データはfacena.viより引用。